

第160回 関西広域連合委員会

日時：令和5年11月16日（木）

場所：大阪府立国際会議場 3階

イベントホールD

開会 11時16分

○三日月広域連合長 それでは、少し遅くなりましたが、第160回関西広域連合委員会を開催させていただきます。

協議事項でございますが、「関西広域医療連携計画（中間案）について」を議題とし、後藤田委員から御説明をお願いいたします。

○後藤田委員 関西広域医療連携計画（中間案）について説明させていただきます。

本計画は、広域医療局におきます分野別計画でございます。令和5年度末をもって計画期間が満了を迎えることから、8月の広域連合委員会において新計画の素案をお示ししたところでございます。その後、広域連合議会の皆さんや管内、大学教授の皆様方、有識者の方々から、また厚生労働省等にも皆さんに見ていただき、御意見をお伺いいたしまして、中間案を取りまとめましたので、お諮りしたいと思います。お手元の資料1を御覧ください。

まず、1の「中間案のポイント」でございますが、（1）の計画期間、（2）の基本理念、（3）の将来像、これにつきましては素案から変更はございません。令和6年度からの3年間を計画期間といたしまして、第5期広域計画に掲げる「安全・安心の4次医療圏“関西”」の更なる深化を基本理念に、「医療における安全・安心ネットワーク」が確立された関西を目指すということでございます。（4）は取組の柱でございます。Ⅰ、Ⅱ、Ⅲに分かれておりますが、Ⅰの「ドクターヘリによる広域救急医療体制の充実」でございますが、これは広域連合議会でも度々御質問を受けますが、ドクターヘリの更なる運航の質の向上に向けまして、ヘリの一体的運用や近隣地域と

の相互連携、人材育成の取組等、これまで以上に深化させていくとともに、新たに夜間運航に向けた検討を行ってまいりたいと思います。広域連合議会からいただいた御意見をしっかり受け止めながら、大規模災害発生時における実効性の高い医療救護体制の早期確立に向けまして、ドクターヘリを含めた管内外からの応援・受援体制の構築に関係部局と連携して取り組んでまいりたいと思います。

次にⅡの「災害時における広域医療体制の強化」でございます。新興感染症対応の活動として位置付けられましたDMATをはじめ、DPAT・DHEATなどの災害医療人材につきまして、その育成・連携を推進していきますとともに、大阪・関西万博等による交流活性化を見据え、テロ攻撃など特殊災害への対策にも取り組んでまいり所存でございます。

Ⅲの「課題解決に向けた広域医療体制の構築」でございます。新興・再興感染症への備えとして、これまで培ってまいりました広域連携の強みを活かした取組を更に推し進めていくとともに、AIや遠隔医療といった医療DX・GXの推進や、健康寿命の延伸に向けた健康づくりに新たに取り組んでまいります。さらに、広域連合議会での議論を踏まえ「こどもまんなか社会」の実現に向けまして、小児医療における広域連携につきましても新たに検討を始めますとともに、ギャンブル等依存症対策につきましても構成府県市間での情報共有を図ることにより、普及啓発をはじめとした一層の対策を進めてまいります。

2の「これまでの経過及び今後のスケジュール」につきましては、中間案について本日、御了承いただいた後、パブリックコメントを実施いたします。その後、再度、有識者の御意見を伺いながら1月に最終案を取りまとめ、3月に広域連合議会に提案してまいりたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

○三日月広域連合長 コロナを経て、今日的な課題も盛り込んで、さらにはドクターヘリの夜間運航の検討を加えた大変意欲的な「広域医療連携計画（中間案）」について御説明がありましたけれども、何か御意見・御質問はございますでしょうか。

よろしゅうございますか。

関西広域連合の1つの成果・実績として、このドクターヘリをはじめとする広域医療の連携がございます。さらに深化させるべく検討を重ねてまいりたいと思いますので、ないようでしたら中間案として今後、検討を進めていくということとさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

続いて、報告事項に入らせていただきます。

まず1つ目、「関西広域連合 海外観光プロモーションについて」、山下副委員、よろしく願いいたします。

○山下副委員 4年ぶりの観光プロモーションを実施させていただきたいと思っております。訪問先は、タイでございます。タイは、インバウンドの全体で5位、東南アジアでは1位という地域でございます。今回は大阪・関西万博もございますので、機運醸成も含めて行ってまいりたいと思っております。また先月、インバウンドがコロナ前を上回り、一部地域では混雑等の問題も出ております。分散型、それから継続的に観光が振興されるテーマですので、視察旅行、教育旅行、企業のインセンティブ旅行や、少しターゲットを絞らせていただいて持続性の高い観光につながるようなプロモーションにしていきたいと思っております。

参加者は、関西広域連合の委員等の皆さんと関西観光本部、関西エアポート、日本旅行業協会関西支部、そして2025年日本国際博覧会協会事務局の方にも御参加いただき、実施させていただきたいと思っております。なお、来年1月には三日月広域連合長をトップとした、韓国に対しての観光プロモーションも実施したいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

○三日月広域連合長 ありがとうございました。

何か御質問等ございますでしょうか。

よろしゅうございますか。

コロナも明けて、インバウンド本格再開ということもあり、万博もありますので、

この海外観光プロモーションも精力的に行っていきたいと思います。なお、大変強行日程ですけれども、西脇副広域連合長を団長とし、タイ・バンコクに行っていただきますし、1月には私を団長とした韓国へのプロモーションを行っていきたいと思いますので、ぜひ委員、副委員の皆様方におかれましても、日程調整等いろいろ大変かと思いますが、御調整のほど、よろしく願いいたします。

ないようでしたら、次の報告事項の2つ目、「令和5年度北陸新幹線の建設促進に係る取組について」、本部事務局から報告させます。

○本部事務局 本部事務局計画課でございます。

令和5年度北陸新幹線の建設促進に係る取組について御説明いたします。

資料3を御覧ください。

大きく2つ項目がございます。1項目め、広域連合、京都府、大阪府、関西経済連合会主催の建設促進大会及び中央要請でございますが、これは昨年度に引き続きの実施でございます。今年度は11月30日（木）に行いたいと思っております。午前「ホテルグランドアーク半蔵門」において大会を、午後からは与党、関係省庁を訪問し、要請活動を行います。なお、来賓者、要請先につきましては、現在調整中となっております。

続いて2項目め、先月開催いたしました「北陸新幹線整備促進シンポジウムin関西2023」の結果報告になります。当日は、三日月広域連合長、大阪府の吉村知事をはじめ、主催者挨拶の後、鉄道・運輸機構より北陸新幹線の概要説明がございました。

トークセッションにおきましては、福井県の杉本知事、神戸大学の正司名誉教授、関西経済連合会の檜原副会長、リクルートじゃらんリサーチセンターの澤柳さんの4名の方に御登壇いただきまして、それぞれのお立場から「金沢－敦賀間」の開業を目前に控えて高まる期待や、大阪までの全線開業が関西にもたらす効果などについての御発言がございました。

閉会セレモニーでは、「ミャクミャク」と福井県のマスコットの「はぴりゅう」が

登場しまして、会場を盛り上げていただきました。

参加者につきましては、オンラインを含めまして約350名の御参加がございました。

説明は以上となります。

○三日月広域連合長　いよいよ来年の3月16日に敦賀まで来るという北陸新幹線でございますが、その後、大阪までの全線早期開業を目指して様々な大会、また要請を重ねていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

何か御意見・御質問等ございますでしょうか。

よろしゅうございますか。

それでは以上といたしまして、次に「『大阪・関西万博機運醸成シンポジウム』の開催について」、本部事務局からお願いいたします。

○本部事務局　資料4を御覧ください。

「大阪・関西万博機運醸成シンポジウム」を開催したいと考えております。日時は、来週11月20日（月）の午後、同じ中之島の大阪大学中之島センターにおいて開催する予定にしております。参加者は自治体、特に基礎自治体を中心に、ベンダーも含めて100名程度でございます。このシンポジウムにつきましては、先ほど申しました基礎自治体のIT担当者や、あるいはベンダーの参加を念頭に置いた小さなシンポジウムを開催するものでございます。万博をきっかけとした都市OSの創造というような、皆さんが興味を持たれる内容を情報提供し、かつ内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局から白水参事官にもお越しいただいて、「デジタル田園都市国家構想と都市OS」についても御講演いただくというものでございます。

我々の本当の狙いは、これに加えて私どもがこれから創ってまいります「大阪・関西万博」の関西の「WEBパビリオン」、ここへの観光情報の集約を呼びかけたい。併せて情報提供だけではなく、いろんなアイデアを求めて、より充実させるようなネットワークを創りたいと考えているところでございます。博覧会協会にもお手伝いいただきまして、興味がよく集まっております「EXPOデジタルウォレット」につい

でも御説明いただく予定にさせていただきます。また、ふるって御参加いただければと思っております。

以上でございます。

○三日月広域連合長　　今、説明のあった内容について何か御質問等はございますでしょうか。

どうぞ、後藤田委員。

○後藤田委員　　機運醸成と違った見解かもしれませんが、先般も総理官邸での全国知事会でも、いわゆるインバウンドのC I Q問題だとか、地方空港への国からの支援を要請しましたが、2025年はオーバーツーリズムになること間違いなしで、多分、関西も大渋滞になって大変なことになる。そこをどの程度認識して、どのように分析して、そのために地方空港in、地方空港outを大阪・関西万博で、自見大臣をはじめ政府は、どのように地方空港を支援するのか。例えばC I Qも、これだけコロナの検疫で大変な訓練をされた地衛研とか地方の保健所、税関にしても、地方分権化しないとグランドハンドリングを含めて大変なことになると思っておりますが、そこも大きく論点としてどのように認識していて、政府として真剣に考えていただきたいと提案します。

○三日月広域連合長　　事務局では答弁しきれないぐらいの大きなお話でしたが、すごく大事な話ですよね。グランドハンドリングも人手不足に伴う様々な対応を今、会社内同士で求められており、場合によっては止まってしまうという事態も起こり得る中で、C I Qを含め、検疫を含め、体制についてもぜひ広域連合としても政府に対して求めていくようにしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

ほか、何かございますでしょうか。

よろしゅうございますか。

それでは、WEBパビリオンへの関係構築も含めて、この機運醸成シンポジウムを開催することといたします。

続きまして、「『令和5年度 関西広域連合協議会 大学生等との意見交換会』の開催について」、本部事務局から説明をお願いいたします。

○本部事務局 本部事務局地方分権課です。

資料5を御覧ください。

「令和5年度 関西広域連合協議会 大学生等との意見交換会」の開催についてでございます。こちらは、今年5月の広域連合委員会で御報告いたしましたものでございますけれども、詳細が決まりましたので御報告いたします。

1の趣旨の第2段落に記載のとおりでございますが、今回は、2025年大阪・関西万博において次代を担うこどもたちが未来社会を体験できる取組等について、大学生等とフリートーキングを行う交流会も実施いたします。

日時につきましては、11月25日（土）、会場は京都リサーチパークです。

4の政策提案募集テーマで公募いたしましたところ、関西圏の8大学19チームから政策提案レポートの御応募がありまして、事前の書類審査の結果、別紙のとおり6大学8チームが選ばれました。

7の主な内容に記載のとおり、当日は三日月広域連合長と西脇副広域連合長が他の審査員とともに意見交換会等に参加され、学生と意見交換を実施いたします。

報告は以上になります。

○三日月広域連合長 このような形で、広域連合協議会として大学生等の皆さんとの意見交換を重ねているところでございます。今回は京都で、大阪・関西万博の開催を契機とした様々な取組などについても御提案いただき、意見交換するということでございます。

何か御意見・御質問ございますか。

よろしゅうございますか。

ぜひ、次回以降も含め、それぞれの府県市の大学等への参加呼びかけなども行っていただければと思っております。できれば、公務員にならないかというお誘いもしな

がら、また万博を盛り上げるために一緒に頑張ろうということも、ぜひ力強く呼びかけていきたいと思えます。

また、関連して翌日の26日（日）に、これも万博の機運醸成の1つの取組として、淀川の河川敷の十三辺りと聞いていますが、清掃活動を行うという体を動かすイベントなども予定されておるようですので、よろしく願いいたします。

続いて、「関西プラスチックごみゼロ・食品ロス削減シンポジウムの開催について」、こちらは広域環境保全局から御説明をお願いいたします。

○広域環境保全局 資料6をお願いいたします。

広域環境保全局とプラスチック対策検討会から、「関西プラスチックごみゼロ・食品ロス削減シンポジウム」の開催について御案内させていただきます。

1の目的にありますとおり、このシンポジウムはプラごみの現状・課題を周知いたしまして、問題意識を共有することで事業者、団体、住民等による実践行動を促すことを目的に令和2年度から実施しておるものでございまして、今年度は12月22日（金）に開催を予定しております。

4の内容にございまして、まず基調講演として、総合地球環境学研究所の浅利美鈴教授からお話をいただきまして、その後、事例2では、2025年日本国際博覧会協会さんからプラスチックごみの削減や食品ロス削減の取組事例を発表いただくほか、事例3では、当広域連合のプラスチック対策検討会が実施している事業につきまして情報共有したいと考えております。

事例発表後には、京都大学の学生を交えたパネルディスカッションを実施いたしまして、関西広域のプラスチックごみや食品ロス削減の取組の推進につなげたいと考えております。

このシンポジウムはオンライン形式で開催いたしまして、YouTubeライブで生配信させていただきます。また後日、見ることもできます。関西広域連合のホームページにアクセスすることで、どなたでも無料で参加できることにしております。



以上でございます。

○三日月広域連合長　　こういったシンポジウムも開催されるということでございますが、何か御質問等ございますか。

後藤田委員、どうぞ。

○後藤田委員　　大変すばらしい会をありがとうございます。情報共有ですが、我が県もゼロ・ウェイストという上勝町、これは世界的に注目されておりまして、頻繁に海外からも来られまして、先日も「消費者国際フォーラム」をフィリピン、マレーシア、タイ、そしてイギリスから来て学生同士の議論を大変活発に行われました。来年は食育の全国大会を大阪府で開催される、再来年、実は徳島県も手を挙げております。食育基本法というのは、私、実は国会議員時代に初めてやった議員立法でございまして、今年石川県だったのですかね。関西をどんどん発信していくという大きな表れですし、上勝のゼロ・ウェイストもありますので、また、上勝町での開催もぜひお待ちしておりますので、よろしくお願ひします。

○三日月広域連合長　　ありがとうございました。

貴重な情報共有でございました。

何かほかにもございますでしょうか。

よろしいですか。

それでは、続いて「毒物劇物取扱者試験の実施について」、本部事務局から説明をお願いいたします。

○本部事務局　　本部事務局資格試験・免許課でございます。

資料7をお願いいたします。毒物劇物取扱試験の実施について御報告いたします。この試験は、令和元年度から関西広域連合で実施しておりまして、今回で5回目の実施となります。今年度は、12月2日（土）に資料記載の8会場での実施を予定しております。

出願者数でございますが、資料下の表にございますとおり、今年度は2,364人と、

前年に比べまして400人余りの増となっております。この出願者数の増加につきましては、新型コロナ対策のための受験制限を取りやめましたことなどが要因ではないかと考えているところでございます。なお、合格発表は令和6年1月11日（木）を予定しております。

報告は以上でございます。

○三日月広域連合長　　こういったことも広域で実施させていただいておるところでございます。特に、御質問よろしゅうございますね。

予定していた議題は以上でございますが、何かこの機会に御報告や御発言はございますでしょうか。よろしゅうございますか。

私から1点、情報共有させていただきたいと思います。私どもがお預かりしております琵琶湖の水位がマイナス60cmになっております。今夜から雨が降るようですので、幾分回復したらいいなと思っているのですが、マイナス90cmを下回ってきますと下流府県市に取水制限などをお願いしなければならないこともございますので、深刻な事態にならないように祈りながら、ぜひ流域それぞれの自治体におかれましても水を大切に使っていこうという呼びかけを、またいろんな場面でしていただければと思いますので、ぜひ上下流連携しての取組を進めていきたいと思います。

以上でございますが、これにて第160回関西広域連合委員会を終了とさせていただきます。

皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございました。

○本部事務局　　皆さん、どうもありがとうございました。

それでは、引き続きまして、記者会見を行わせていただきたく思います。私の方から指名をさせていただきますので、記者さんは御質問がございましたら挙手をいただきたいと思います。指名いたしましたら、所属とお名前をおっしゃってから御質問をお願いしたいと思います。

では、どうぞ。挙手をお願いします。

どうぞ、お願いします。

○毎日新聞　毎日新聞の井上と申します。今日の協議事項、報告事項とは直接関わらない質問で恐縮ですけれども、万博についてお伺いさせていただきます。

先立って、全国知事会で万博推進本部が開かれて、いかに機運醸成していくか、あと、こどもを含めてどういうふうに招待していくかということは、大臣からも説明があったと思います。お伺いしたいのは、こどもの万博会場への招待の件で、広域連合長は滋賀県知事として、こどもの招待を全県事業としてやっていきたいということを議会で表明されていると伺っているのですが、関西広域連合として何か取組をされていくのかという点と、大変恐縮なんですけれども、今日は知事の方もいらっしゃっているので、可能でしたら各府県の知事さん、どのようにお考えになっているのか、御意見を伺わせていただければと思います。

よろしくお願いたします。

○三日月広域連合長　まず、総括して私からお答えいたしまして、後ほど出席している知事から現時点での考え方を披瀝したいと思います。

まず、今おっしゃった万博の機運醸成は、今、重要な取組だと思っておりまして、先般の13日に行われました全国知事会におきましても、万博を契機とした地域の活性化を含めて、その取組状況を共有したところでございます。

とりわけ、未来に希望を持ってということで、こどもにつきましても重要なテーマだということで、こども出前授業などの「万博交流イニシアティブ」について、大臣から紹介いただいたということがございます。

また、それぞれ府県市において、こどもを万博にどのように招待するのか、参加させるのかについては、それぞれの府県市において独自の考えで検討いただいているところですので、現時点で広域連合として何か統一的な取組を行う予定はございません。ちなみに、滋賀県では4歳から18歳まで、一度は万博に行けるような取組を、教育旅行を含めてやろうということで、現在、準備を進めているところでございます。

○山下委員 奈良県知事の山下でございます。

奈良県におきましては、まだ本決まりではございませんが、小学生、中学生、高校生等が課外授業、遠足等で万博に行く場合のチケット代を県が負担するといったことを検討しております。

○岸本委員 和歌山県知事の岸本周平でございます。

和歌山県では、現在、来年度予算に向けて小学生、中学生のチケット代とバス代について一定の援助ができないか検討しておりまして、バス代は前年度に振り込む必要があるのですが、来年度の予算化が必要になっていきますので、予算編成の過程で今、前向きに検討しているところであります。

○後藤田委員 徳島県であります。

私どもも全国知事会に先駆けて、近畿ブロック知事会議でもテーマになりまして、その後、早速、教育委員会と協議を始めておりまして、チケット代、バス代等の予算措置につきましても検討に入っております。

○三日月広域連合長 以上でございます。

○毎日新聞 ありがとうございます。

○本部事務局 ほか、いかがでございましょう。

ございませんか。

では、ないようでございますので、これで記者会見を終了いたします。

ありがとうございました。

閉会 11時46分